平成27年度「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革　公開フォーラム」
（平成28年1月24日　東京）

産婦人科医確保に対する石川県の試み

- 構造的な問題点の解析と行政との連携 -

金沢大学医薬保健研究域医学系産科婦人科学教室

藤原 浩

金沢大学着任時

- いつ周産期医療が破綻してもおかしくない
- このままでは10年後には次世代の指導者も枯渇して回復不可能な崩壊状態になる

これまで何とかなっていたため現場や行政に危機感が無く、
リクルート活動もあまり活発ではなく入局者も激減していた

金沢大学産婦人科同門会
石川県産科婦人科医会
石川県庁

→ 学生リクルートの協力体制の整備

平成26年11月13日（火）付　北国新聞・朝刊
（日本産婦人科医会・日本産婦人科学会の将来予測を受けて）

H26.11.13(火)

石川の産科医25%減

10年後、全国ワースト

学会予測

お産を扱う産科医の人数が10年後の2024年に、26府県で減少するとの試算を、日本産婦人科医会と日本産科婦人科学会が12日、発表した。最も減少率が大きいのは石川県で、25・8%の減少を見込む。ハードな勤務や医療訴訟のリスクなどから、産科を希望する医学生が減少しており、人材確保が急務となっている。

報告書によると、分娩施設で働く全国の産婦人科医（産科医）はことし3月末時点で9702人。平均年齢は46歳で、おおむね64歳までに出産を扱うとして推計した。定年を迎える人数を差し引き、これまでの実績から推定される新人を加えた試算の結果、10年後には全国平均で約7%増え、1万376人になると予測された。

増加分は東京、大阪など都市圏が中心で、地方は減少し、地域格差が深刻化するとの結果となった。最も減少する石川県は93人が69人となり、20・2%減の福島県が続いた。両県とも35歳未満の若手産科医が少なく、研修医のうち産科医になる割合も低い。

富山県は1人増えて85人で1・2%増、福井県も1人増の69人で1・5%増と、ほぼ横ばいだった。

石川県内で開業する産科医は「都会の病院なら当直は週1回だが、こっちは3日に1回。少人数で過酷な勤務になりがちなことが、地方が敬遠される要因ではないか」と話す。激務に加え、訴訟リスクが高いことも理由という。県内は高齢の産科医が多く、退職時期が迫っており、「ドクターは減る一方で、このままでは『お産難民』が出かねない」と指摘する。

県によると、2012年末現在で県内の出生者数当たりの産科（産婦人科を含む）医師数は、金沢市周辺の「石川中央」エリアは全国平均より多いが、「能登北部」「能登中部」「南加賀」の3エリアは全国平均を下回り、地域格差も課題となっている。

全国の産婦人科病院でつくる「HIS研究会」副理事長を務める荒木病院（小松市）の荒木重平理事長は「国が現状に気付き、産科医の待遇面での改善など対策を講じなければ、若い医師は見向きもしないだろう」と訴えた。

医師不足解消へ

県は奨学金制度

県は産婦人科のほか、医師不足が指摘される麻酔、外科、小児科を対象に、月20万円を最大2年間貸与する奨学金制度を設けている。県の指定病院に勤務すると返還が不要になる。27人に貸与したが、産婦人科希望者は1人だけだった。

金沢医療センターや七尾市の恵寿総合病院では、助産師だけで出産を介助する「院内助産」を導入している。通常の出産を助産師が担うことで、産科医不足や産科医の過重労働を解消させる方策として注目されている。

県産婦人科医会の浮田俊彦会長は「大学や病院、開業医が連携し、若手医師のリクルートに努めたい」と話した。

10年後の産科医師数の増減

増加		減少	
東京	32.2%	石川	−25.8%
茨城	25.9	福島	−20.2
兵庫	25.2	宮崎	−16.3
大阪	17.6	三重	−14.8
山梨	11.3	岐阜	−13.8

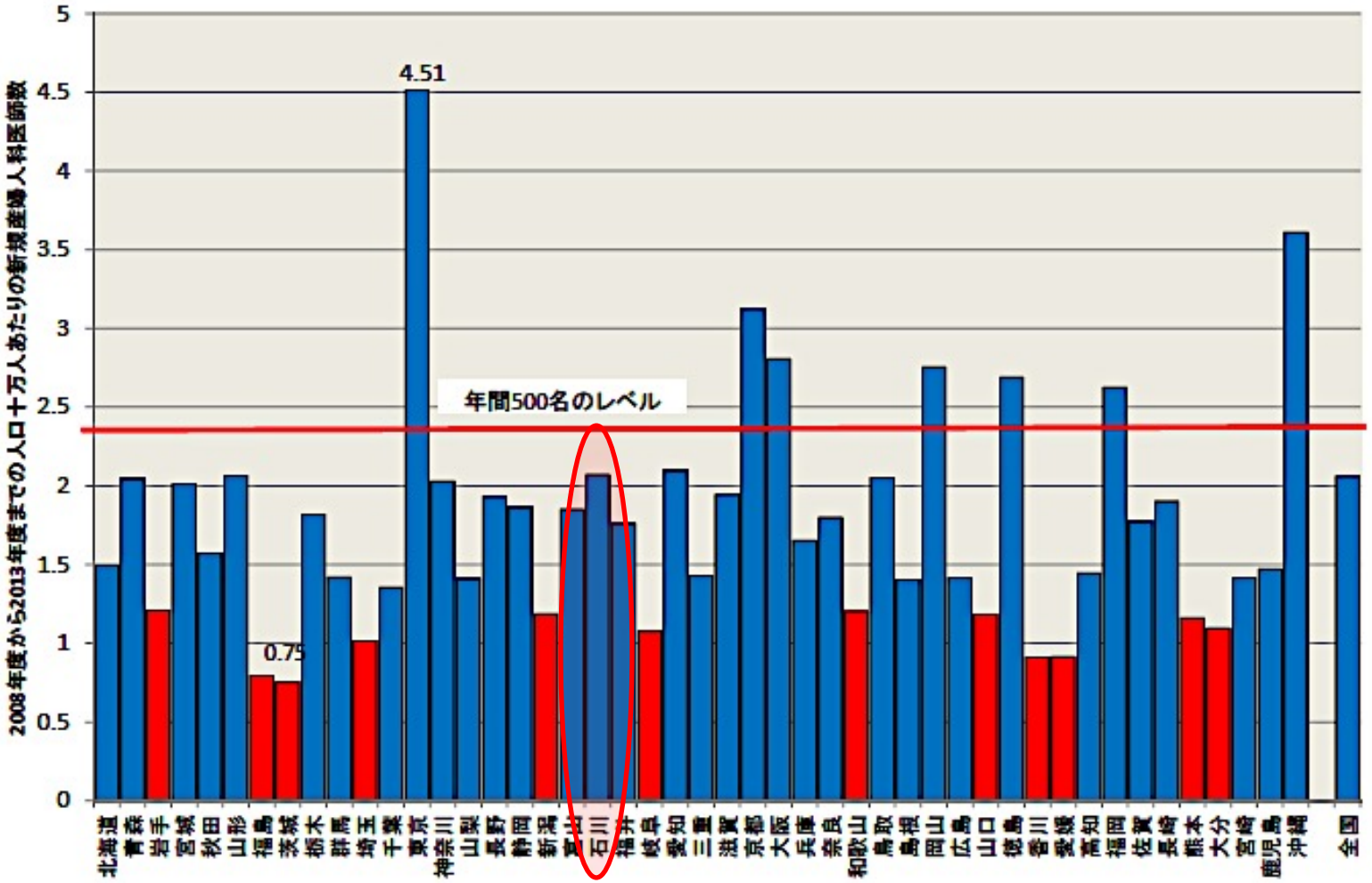
県行政の上層部が周産期医療対策に真剣に取り組むきっかけとなった

日本産婦人科医会による石川県の現状分析

	指　標	石川県	全　国	医会の評価
①	人口10万対産科医数	8．0人	7．6人	
②	産科医の年齢（平均値等）	50．6歳	46．0歳	平均以下
③	産科医一人あたりの分娩数	108件	105件	
④	産科医一人あたりの手術数	29件	29件	
⑤	35歳未満の産科医数	12名	2，611名	平均を大きく下回る
⑥	産科医師就業率（注）	1．8%	4．3%	平均を大きく下回る

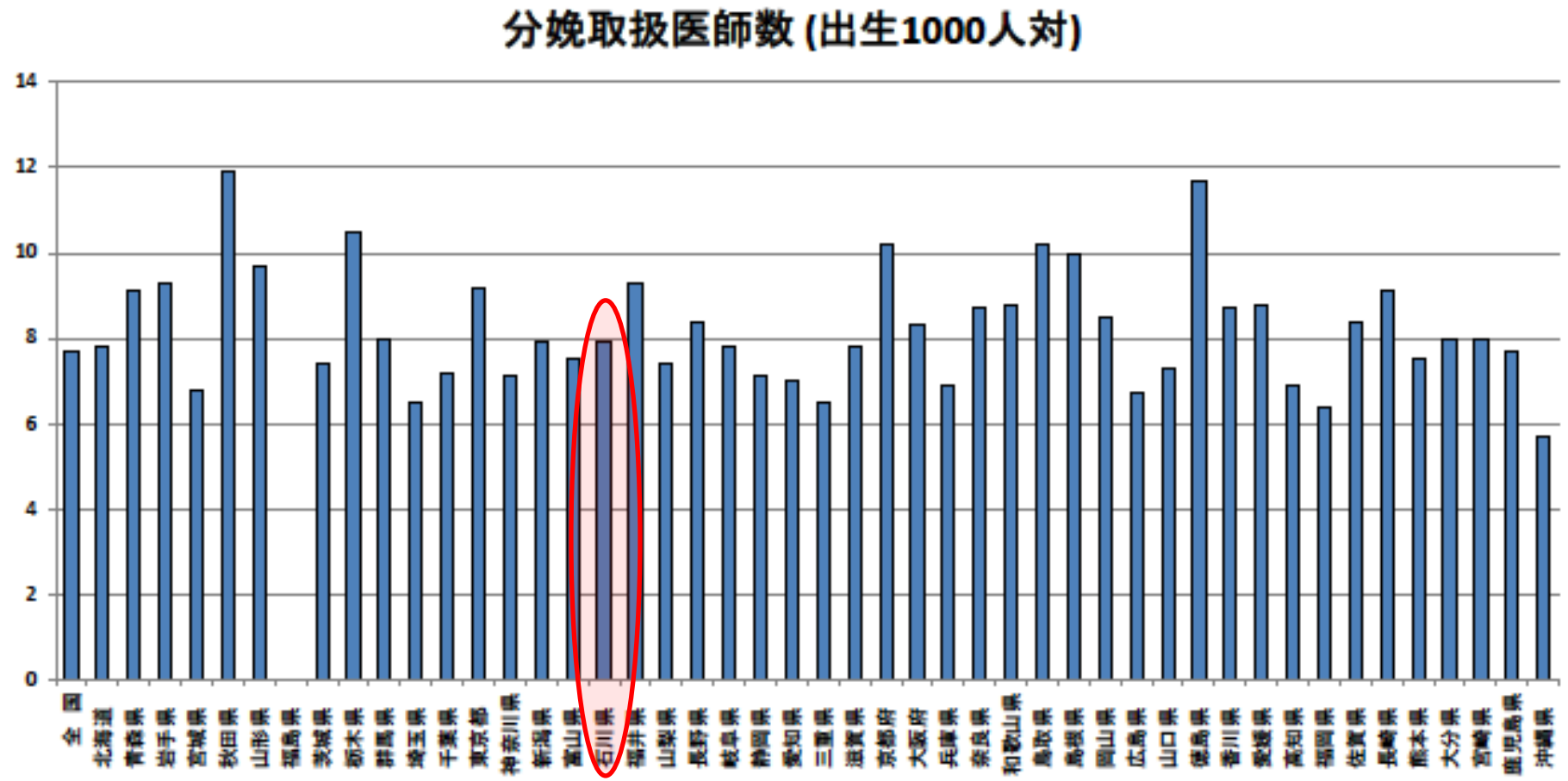
（注）産科医師就業率＝３５歳未満の産科医師数／過去８年間の研修医在籍数

産婦人科医の現状
2008-2013年度の都道府県別新規産婦人科医数
（人口十万対）



都道府県別　分娩取扱医師数（出生1000人対）　平成23年度

大都市を抱える都道府県とその他の県ではあまり差がない。最少は沖縄県の5.7人、最多が秋田県11.9人と約2倍の差。



※平成23年度は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県の全域を除いた数値。

医師数：「医療施設静態調査」（平成23年10月）
出生数：人口動態統計平成23年

石川県　主要指標の一覧

		全国	石川県	石川中央	南加賀	能登中部	能登北部
地域	分類	NA	NA	大規模	中規模	小規模	小規模
出生数	2014年出生数	1,001,007	8,961	6,084	1,822	770	285
	減少率推計（対2025年）	19%	17.0%	15.6%	14.2%	24.6%	38.7%
件数	2014年分娩件数※	1,011,996	9,757	6,565	2,011	888	293
	うち病院割合※	51.0%	51.6%	39.3%	80.5%	61.8%	100.0%
	医師1人あたり分娩件数※	124.2	112.1	105.9	167.6	88.8	97.7
医師数	分娩取り扱い医師数※	8205	87	62	12	10	3
	出生千あたり医師数※	8.0	8.6	9.3	6.0	9.0	10.2
	女性医師割合※	n/a	15.9%	17.5%	8.3%	20.0%	0.0%
	55歳以上医師割合※	n/a	36.4%	33.3%	66.7%	10.0%	66.7%
	病院あたり医師数※	5.5	3.2	4.8	1.7	3.0	1.0
アクセス	分娩医療機関（60分以上）※	2,920	0	0	0	0	0
	出生数に占める割合※	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	周産期母子医療センター（30分以上）※	128,895	2,598	64	1,583	667	285
	出生数に占める割合※	12.9%	29.0%	1.0%	86.9%	86.6%	100.0%

男性医師の協力のもとで女医が子育てしながらの現役続行が比較的

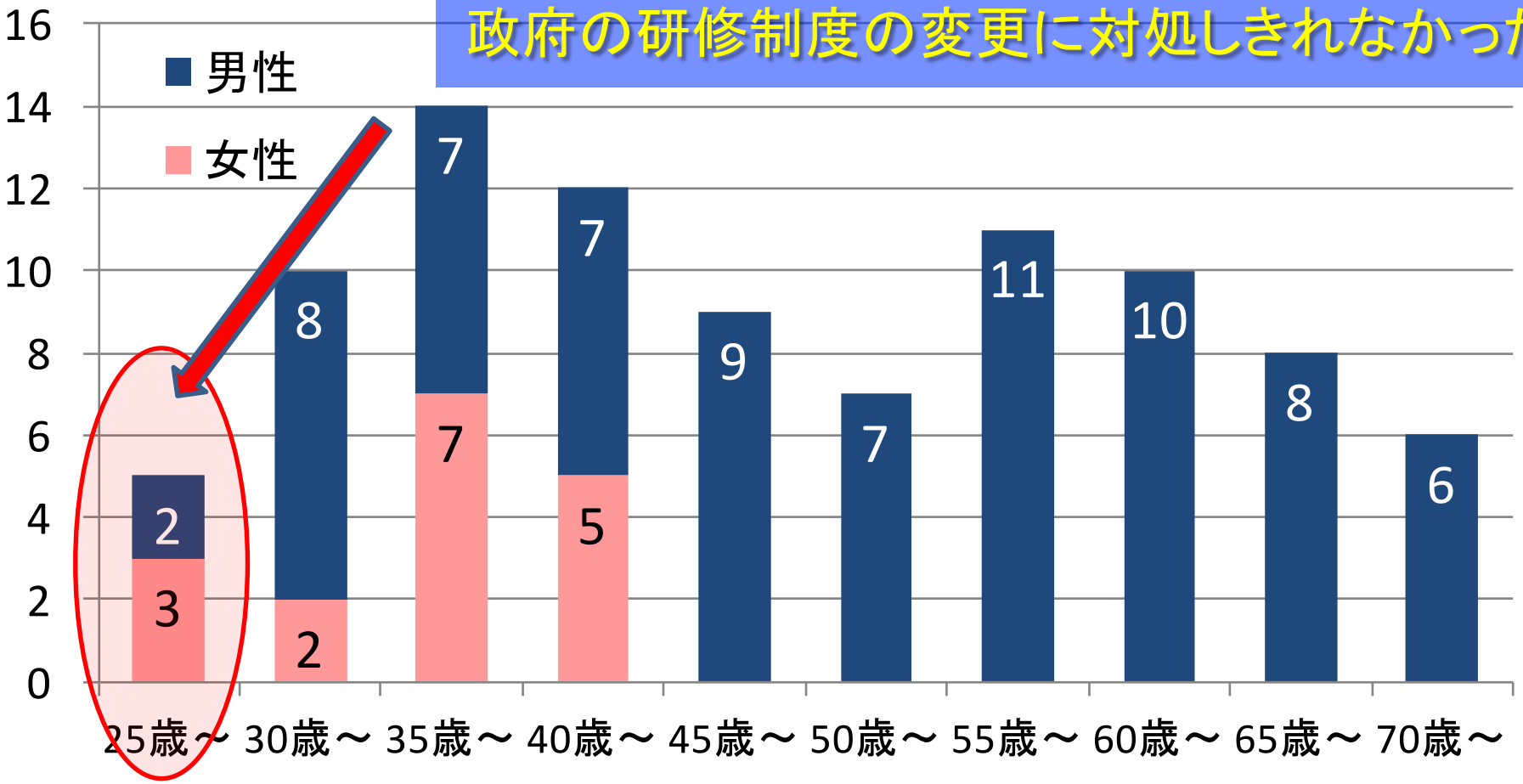
容易な環境が維持され、結果として石川県にとって幸運であった

石川県の分娩実施医療機関の常勤の産婦人科医数

◆分娩実施医療機関に勤務している常勤の産婦人科医：92人（年代別の分布は下記）

◆このうち、分娩に携わっている常勤の産婦人科医：88人

政府の研修制度の変更に対処しきれなかった



（出典）石川県地域医療推進室調べ（平成26年11月現在）

本県の産婦人科医（3）

■ 日本産婦人科医会による将来推計

「10年後の石川県の産婦人科医数」

＝「現在の医師数」－「55歳以上の医師数」＋「8年目までの医師数」×1.25

（93名）　（39名）　（12名×1．25＝15名）

＝69名（▲25．8%）

将来の魅力あるキャリア形成を示せなかった場合には

次の研修先を自ら探して県外に移動する

（出典）「産婦人科医師の勤務実態と将来ビジョン」（日本産婦人科医会常務理事　中井章人）

■ 過去5年間（平成22年～平成26年）の産婦人科医の専攻医数は19名（年平均3．8人）。

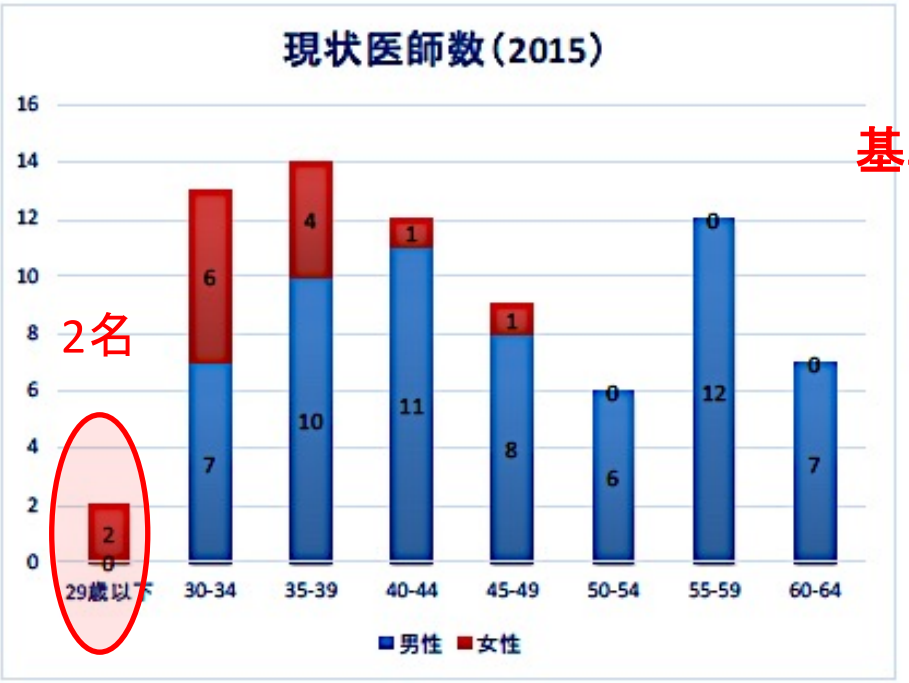
（出典）石川県地域医療推進室調べ（金沢大学附属病院、金沢医科大学病院、石川県立中央病院の合計数）

■ ⅰ）現在の産婦人科医数は全国平均を上回っており、

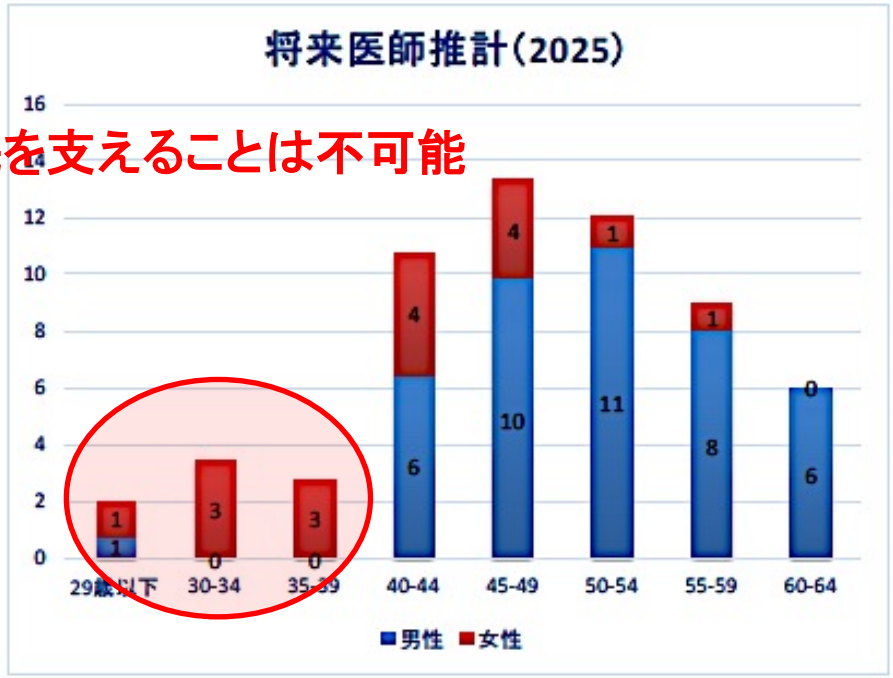
ⅱ）10年後の産婦人科医数は、必ずしも日本産婦人科医会の試算どおりにはならないと想定しているが、

安全・安心の医療提供体制を確保するために、産婦人科医の確保方策を強化する。

石川県　医師数将来推計



基幹病院を支えることは不可能



75人(男性61人、女性14人)
※65歳未満を集計対象とした場合

59人(男性42人、女性17人)
18%減

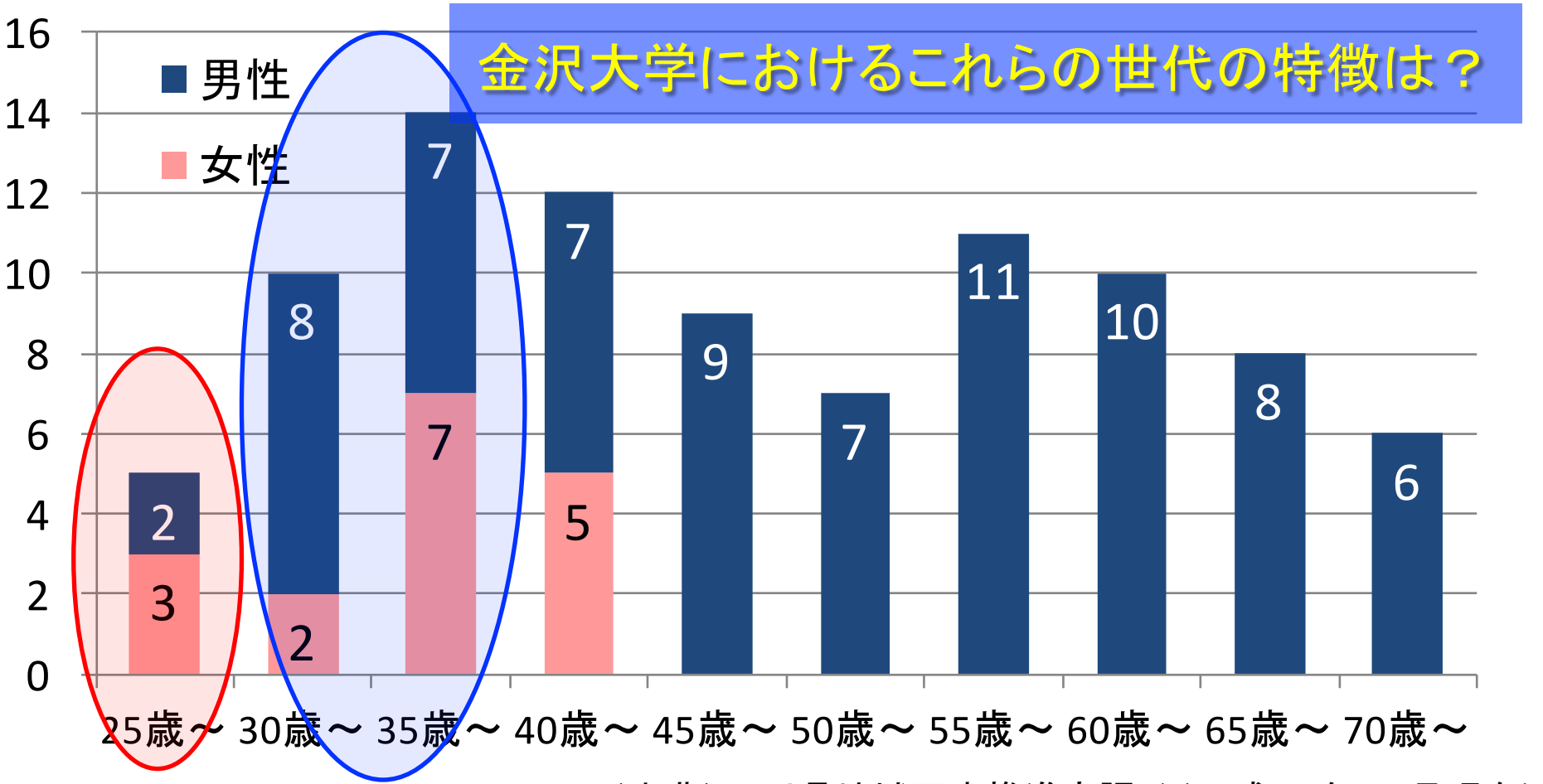
- 29歳以下・・・現状の29歳以下の医師数を採用、男女比は過去5年の全国の平均値(4対6)を使用
- 30-34歳、35-39歳・・・現状の29歳以下医師数に、全国調査の過去5年の29歳以下と30-34歳の比率(男性2.75、女性2.09)を乗じた上で、分娩取扱い割合(2013年日医総研)を乗じた
- 40-44歳、45-49歳・・・現状の30-34歳、35-39歳医師数に分娩取扱い割合(2013年日医総研)を乗じた
- 50歳以上(現40歳以上)は、65歳まで分娩に従事、取扱集計対象外
- 流出入、当直可否、非常勤、開業等は考慮していない

一度心が離れた学生に対して
リクルートの効果を得るには3年かかる

石川県の分娩実施医療機関の常勤の産婦人科医数

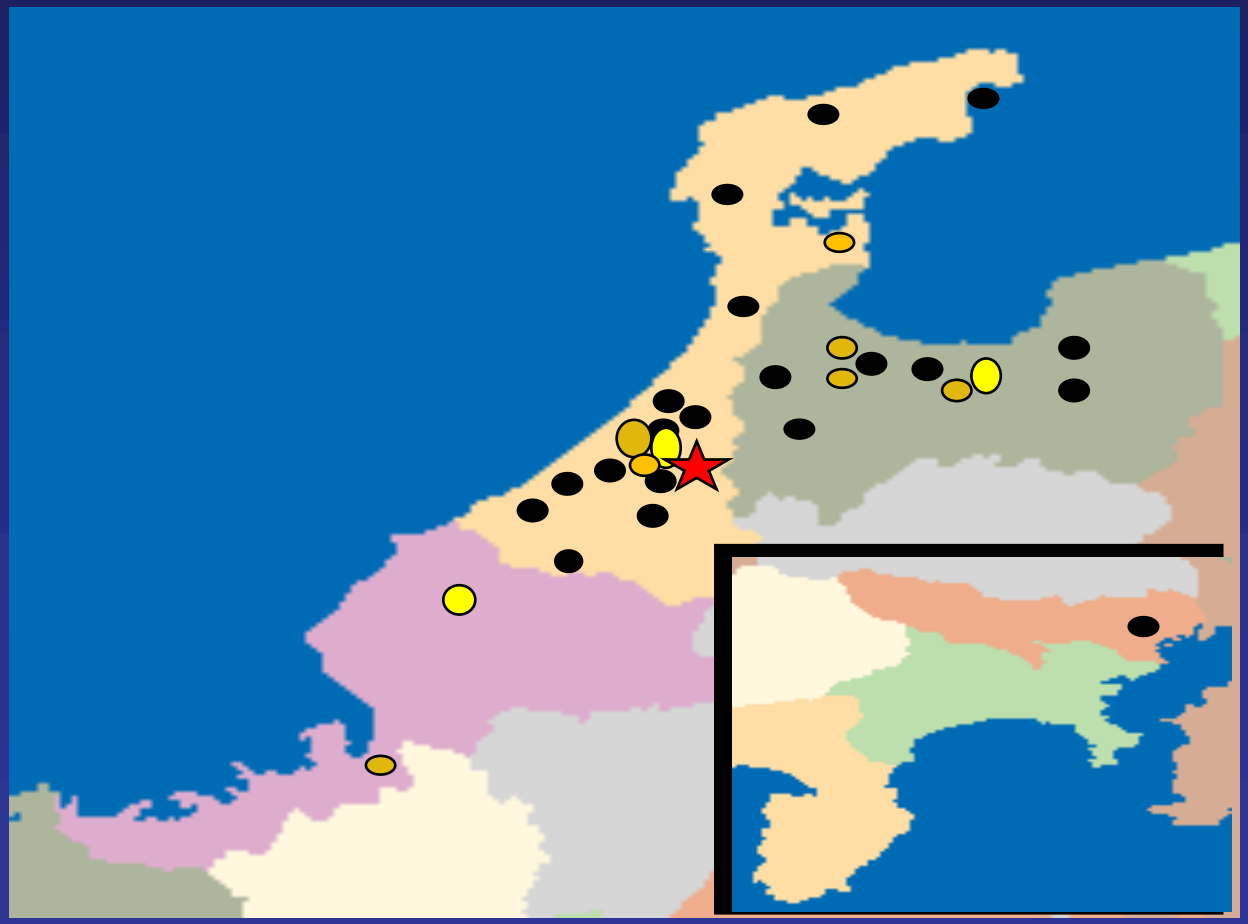
◆分娩実施医療機関に勤務している常勤の産婦人科医：92人（年代別の分布は下記）

◆このうち、分娩に携わっている常勤の産婦人科医：88人

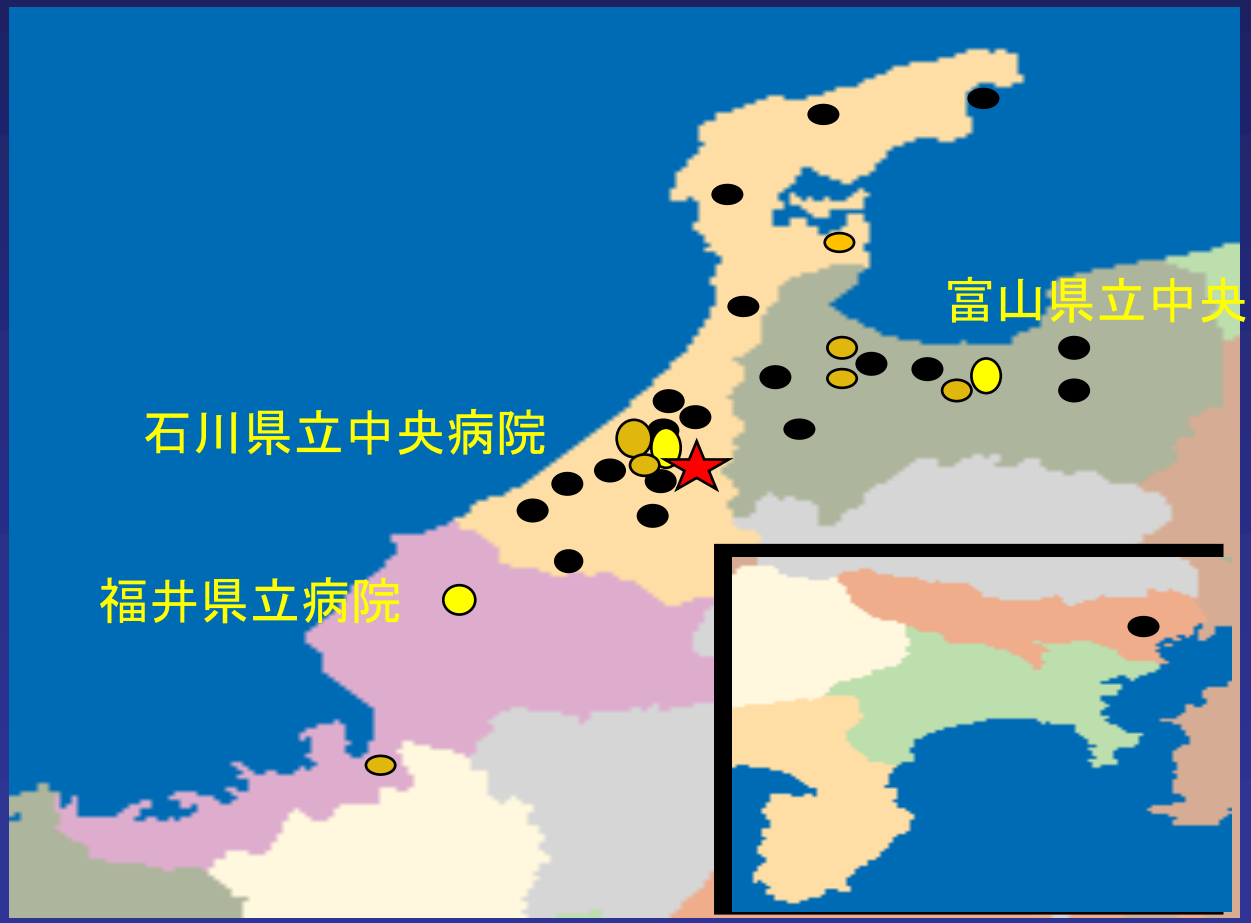


（出典）石川県地域医療推進室調べ（平成26年11月現在）

金沢大学産婦人科の関連病院



金沢大学産婦人科の関連病院



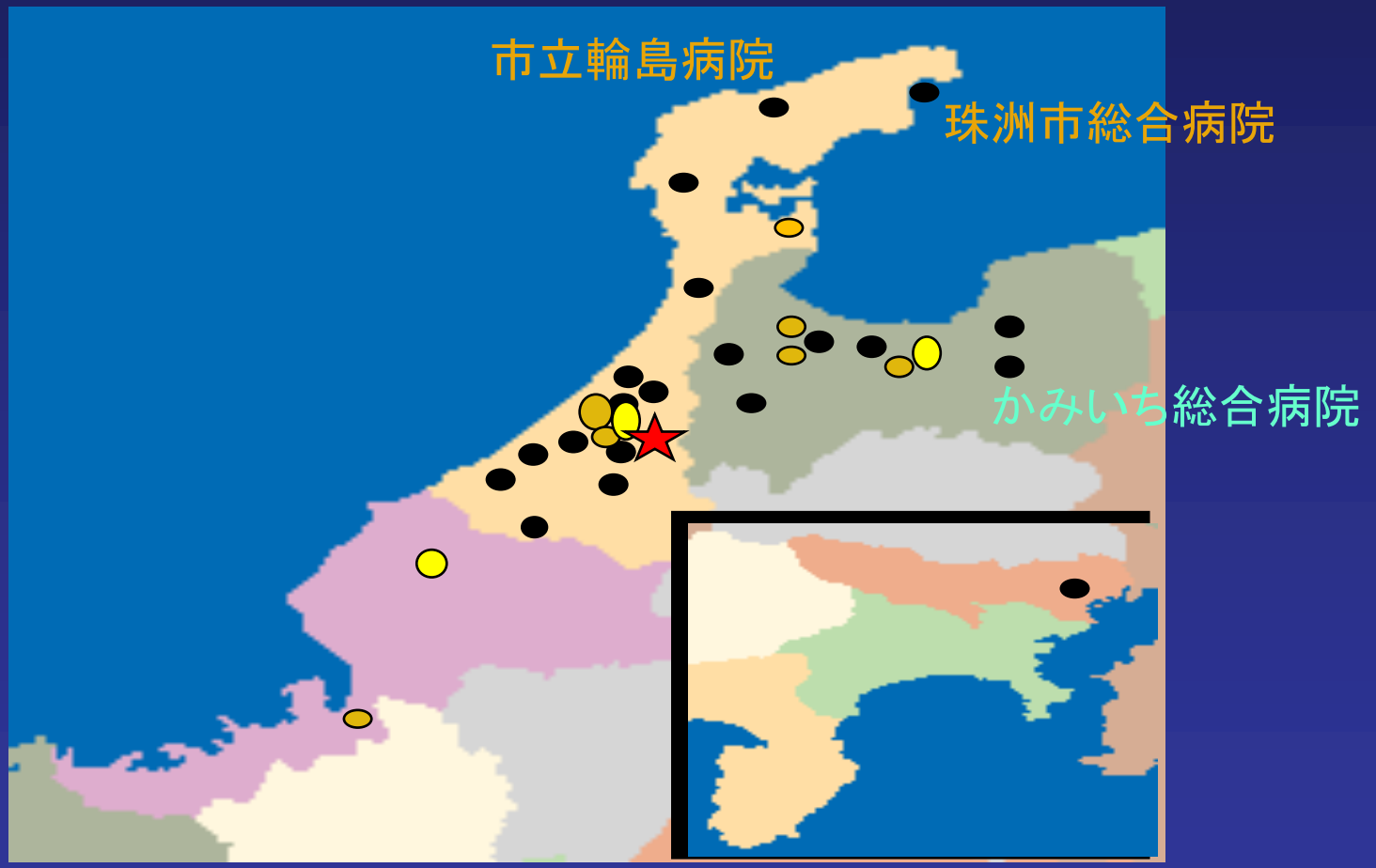
総合周産期母子医療センター

金沢大学産婦人科の関連病院



地域の基幹施設

金沢大学産婦人科の関連病院



地域医療施設